

「世界劇場会議国際フォーラム2012」
実行委員長 衛 紀生



公共劇場は何処にあるのか。世界劇場会議はこれまで公共的な劇場があるという前提で開催して、議論をしてきました。しかし、公立劇場・ホール of 外部環境が大きく変化するなかで、私たちは試されているのではないのでしょうか。だから、もう一度私たちは立ち止まって考えるべきではないのでしょうか。公共劇場は何処にあるのか、どのようなプロセスを経て公共劇場になるべきか、を。あるいは、芸術家や劇場人自身が劇場・ホールの敷居を高くしているのではないかと疑ってみることも必要です。そして、私たちは、真の意味で国民・市民によって必要とされている劇場・ホール、すなわち日本における「公共劇場」のグランドデザインを模索したいと思います。たとえその糸口であっても、「公共劇場」の輪郭が描ければ世界劇場会議のミッションは果たせたことになる、と考えます。

参 加 申 し 込 み 要 項

■参加費

◇基本登録料（論文報告集含む）	
一般	6,000円
ITCN会員	5,500円
◇1日券（論文報告集含む）	4,500円
◇レセプション参加費	5,000円

※理由の如何を問わず、お支払いの参加費は返却できませんのでご了承ください。

※論文報告集のみの購入 3,000円

■申し込み方法

- ◇同封の参加申込用紙に必要事項を全てご記入の上、郵便・FAXにて事務局までご送付ください。
- ◇用紙が不足の場合はコピーしてお使いください。

■参加費のお支払いについて

- ◇下記銀行口座に必要な金額をお早めにご入金ください。
- ◇参加登録申込書と振替用紙の氏名（団体名）は必ず同一で記入してください。
- ◇申込書1枚につき、振替用紙1枚をご使用ください。
- ◇振込先

三菱東京UFJ銀行 名古屋駅前支店 普通 0132536
世界劇場会議国際フォーラム2012 実行委員会
事務局長 川本直義

■参加登録締切

◇2012年1月27日（金）

※当日の登録もお受けいたします。ただし登録者数多数の場合はお断りすることがあります。

■参加登録証・レセプション参加券と領収証の発行

◇参加費の入金確認後、事務局より参加登録番号をe-mailまたはFAXにてご連絡いたします。登録番号は当日の参加登録証との引き換えに必要となりますので印刷するかメモして大切に保管してください。

※2012年2月3日（金）までに上記書類が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

◇本フォーラムは㈹日本建築家協会（JIA）のCPD認定プログラムとして申請予定です。

事務局「世界劇場会議 国際フォーラム2012」実行委員会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-12
グランビル2B
特定非営利活動法人世界劇場会議名古屋内
TEL&FAX 052-232-2271
E-mail f12@itc-nagoya.com
HP http://www.itc-nagoya.com

実 行 委 員 会

大会委員長 藤井知昭	[愛知芸術文化協会理事長/ 総合研究大学院大学名誉教授]
顧問 神田真秋	[愛知芸術文化センター総長]
池田善次	[(財)愛知県文化振興事業団理事長]
相羽規充	[(公財)名古屋市文化振興事業団理事長]
伊豫田静弘	[演出家]
大脇 明	[プロデューサー/(株)テレビシティ代表取締役]
清水裕之	[名古屋大学大学院環境学研究科教授]
実行委員長 衛 紀生	[可児市文化創造センター館長兼劇場総監督]
副実行委員長 下斗米隆	[NPO法人世界劇場会議名古屋理事長/ (株)エフ・ジー・ジー代表取締役]
山出文男	[(株)シーエスエス総合舞台常務取締役]
実行委員 秋里ゆきよ	[日本フラメンコ協会正会員/ 日本ダンス・セラビー協会正会員]
秋田 敏	[(財)愛知県文化振興事業団事業課長]
泉 尊信	[丸茂電機(株)名古屋営業所主任]
岩室秀典	[三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員]
川島洋次郎	[ヤマハサウンドシステム(株)名古屋営業所所長]
川本直義	[(株)エルイー創造研究所取締役所長(名古屋)/ (株)伊藤建築設計事務所理事]
小西邦夫	[(株)三光代表取締役社長]

小林おかり	[名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授]
櫻場敬信	[NPO法人武豊文化創造協会理事長]
高木正博	[NPO法人武豊文化創造協会]
高橋健二郎	[三精輸送機(株)名古屋営業所所長]
竹内洋江	[NPO法人名古屋おやこセンター理事長]
友宗篤彦	[(公財)名古屋市文化振興事業団文化振興部長]
西澤康夫	[平成医療短期大学教授]
藤井 克	[長円寺会館/グリーン・エコー]
二村利之	[七ツ寺共同スタジオ代表]
細井昭男	[(株)都市造形研究所]
丸山洋史	[コトブキシーティング(株)名古屋支店 営業開発室室長]
宮田 健	[(公財)名古屋市文化振興事業団文化振興部主幹]
靱山勝人	[長久手町文化の家局長補佐]
森下勝史	[(株)シーエスエス総合舞台]
山内 均	[愛知県文化情報センター所長]
山口清司	[(株)若尾総合舞台取締役]
山口 滋	[(株)松村電機製作所中部支店支店長]
山田 純	[名古屋芸術大学大学院音楽研究科教授]
弓達聡子	[Puppet Theaterゆめみトランク代表]
渡邊孝晴	[(株)ヤマハミュージック東海名古屋店店長]

事務局長 川本直義
事務局次長 竹内洋江、細井昭男
事務局 松尾朋子



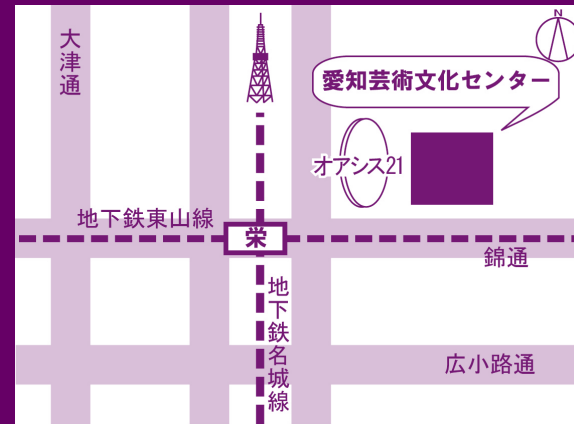
世界劇場会議 国際フォーラム2012

International Theatre Conference Forum 2012

日本に公共劇場はあるか？

2012年2月10日(金)～11日(土・祝)

愛知芸術文化センター 12階アートスペース



■アクセス：名古屋市中区東桜一丁目13番12号
TEL (052) 971-5511 (代表)
名古屋駅から地下鉄東山線「栄駅」下車徒歩2分

■主催 催：「世界劇場会議国際フォーラム2012」実行委員会

■主催構成団体：愛知県/名古屋市/(財)愛知県文化振興事業団/
(公財)名古屋市文化振興事業団/NPO法人世界劇場会議名古屋

■後援：文化庁/(財)地域創造/(社)日本芸能実演家団体協議会/(社)企業メ
セナ協議会/(社)全国公立文化施設協会/(公社)劇場演出空間技術
協会/文化経済学会<日本>/日本NPO学会/日本アートマネジメント
学会/日本音楽芸術マネジメント学会/日本文化政策学会/(財)舞
台芸術財団演劇人会議/愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/愛
知芸術文化協会/名古屋ホール運営協議会/愛知県舞台運営事業協
同組合/(社)日本建築家協会東海支部/NPO法人名古屋おやこセン
ター

■協力：愛知県/愛知県舞台運営事業協同組合/㈱アール・アイ・エー/㈱
伊藤建築設計事務所/㈱イーブイアイオーディオジャパン/ウシオ
ライティング㈱/㈱エーアンドブイ/㈱エルイー創造研究所/オタリ
テック㈱/カヤバシステムマシナリー㈱/喜喜怪会/コトブキシー
ティング㈱/㈱三光/三精輸送機㈱/㈱シーエスエス総合舞台/大成
建設㈱/中部日本放送㈱/東海テレビ放送㈱/㈱東畑建築事務所/㈱
都市造形研究所/パナソニック電工㈱/㈱バラッド/ビクターアーク
ス㈱/ヒビノ㈱/㈱松村電機製作所/丸茂電機㈱/森平舞台機構㈱/ヤ
マハサウンドシステム㈱/㈱若尾総合舞台

■印刷：㈱友人社



世界劇場会議 国際フォーラム2012

International Theatre Conference Forum 2012

日本に公共劇場はあるか？

開会式 2月10日(金)13:00 愛知芸術文化センター 12F アートスペースA

基調講演「明日の劇場」 2月10日(金)13:30～15:00 アートスペースA

劇場は成長し進化する(あるいは衰退し、消滅する)。劇場が有すべき「公共性」も固定的なものではないし、永劫不変の普遍的なものでもない。時代や地域性によって変遷する「公共性」の概念を整理し、その発展段階における、それぞれのステークホルダーの役割と責務を明らかにする。

〔講師〕
平田オリザ 劇作家・演出家・大阪大学大学院教授

Session-1：必要とされているのか、地域の公立文化施設 2月10日(金)15:15～18:00 アートスペースA

東日本大震災の復興がいま進められている。しかし「公立文化施設」再建への要望は地元からどのくらい強くあるだろう。「公立文化施設」が地域にとって本当に必要であったのか、これから必要とされていくのか、さらに必要とされていくために何をなすべきか・・・「公共劇場」存在の意義について考える。

〔講師〕
梶屋一之 世田谷パブリックシアター 劇場部長
八巻寿文 せんだい演劇工房10-BOX 2代目工房長
八木祐之 (財)高松市文化芸術財団 事業ディレクター
〔コメンテーター〕
中川幾郎 帝塚山大学大学院法政策研究科教授
〔コーディネーター〕
衛 紀生 可児市文化創造センター館長兼劇場総監督

特別展示:「リニューアル時代を迎えた劇場」(パネル展示) 10日(金) 12:30～18:00 アートスペースH
11日(土) 9:30～15:30 アートスペースH

地方の中小都市でも舞台芸術の創造や鑑賞のための環境整備が進められたことによって、それ以前に建てられた施設では、構造問題や法的問題をクリアするためだけではなく、最新の演出に応えられる設備を整えたり、快適な環境で鑑賞したいという観客の要望からリニューアルが求められている。

パネル展示:サントリーホール、大阪市中央公会堂 ほか

記念講演:「サントリーホールのリニューアル」(仮) 10日(金) 15:30～17:00 アートスペースH

開館25周年を迎えたサントリーホールの設計者が、ホールの建設時から2007年のリニューアルに至るまでの経緯、手法、そして将来への展望を語る。

〔講師〕
木村佐近 (株)安井建築設計事務所東京事務所 企画部部长
〔司会・聞き手〕
山田 純 名古屋芸術大学大学院音楽研究科教授

情報交流サロン：10～11日

10日12:30～18:30
11日 9:30～17:00 12F アートスペース E & F

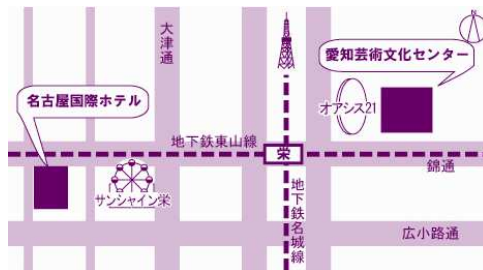
全国の劇場・芸術団体の交流の場としてお気軽にお立ち寄りください。関連書籍の販売やチラシ・パンフレット等を展示しています。

熱い熱い議論の合い間に
一杯のコーヒーと新しい出会いはいかがですか？

レセプション：10日19:00～20:30

フォーラムに参加された皆さんが、「劇場」をキーワードに様々な意見や情報を交換する場として多くの方々の参加をお待ちしております。

会場:名古屋国際ホテル
2階宴会場
名古屋市中区錦3-23-3
TEL 052-961-3111
愛知芸術文化センターより徒歩5分



Session-2：「劇場文化」の见えない被災と復興のプロセス 2月11日(土)10:00～15:00 アートスペースG

～建築、劇場、活動を被災地の視点から読み解く～

未曾有の大震災によって劇場も甚大な被害を受けながら、少しずつ復旧の過程を歩みつつある。だが、震災直後からの表面的には見えにくい劇場文化の被災を振り返りながら、建築、劇場、活動の視点からそのプロセスと様々な課題を捉える。

「文化被災」の観点から震災直後から被災地のフィールドワークを重ねる建築評論家・五十嵐氏、震災後早期に再開した仙南芸術文化センター所長・水戸氏、仙台を中心に演劇人の復興支援に尽力する鈴木氏を招き、東北の劇場の現況を知る坂口氏のコーディネートによって、人が集まる場としての「劇場の役割」をあらためて捉え直す。被災地を日々活動拠点とする全てのパネリスト達の議論を通して、次の可能性を読み解いていく。

〔講師〕
五十嵐太郎 東北大学大学院工学研究科教授
水戸雅彦 仙南芸術文化センターえずこホール所長
鈴木 拓 Art Revival Connection TOHOKU事務局長
〔コーディネーター〕
坂口大洋 仙台高等専門学校建築デザイン学科准教授

Session-3：「劇場経営」という視点で捉え直す「アートマネジメント」 2月11日(土)10:00～15:00 アートスペースA

これからの公共劇場運営に欠かせない「アートマネジメント」を、いままで欠落していた「劇場経営」という視点で捉え直そうというセッション。文化、教育、福祉などを軸として、地域との結びつきを強める公共劇場運営のあり方を考える。

〔講師〕
中村 透 琉球大学教育学部 教育学部長 教授
片山泰輔 静岡文化芸術大学文化政策学部教授
米屋尚子 (社)日本芸能実演家団体協議会芸能文化振興部部长
衛 紀生 可児市文化創造センター館長兼劇場総監督
〔コーディネーター〕
草加叔也 空間創造研究所代表

Session-4：公共劇場のゆくえ 2月11日(土)15:30～17:30 アートスペースA

各セッションのコーディネーターを中心としてそれぞれに議論されたことを横断的に話し合い、公共劇場の方向性を探る。特に、劇場法をにらんだ運営のあり方、日本版アーツカウンシルのあり方などを題材に、全員参加で熱い議論を繰り広げる。

〔講師〕
衛 紀生 可児市文化創造センター館長兼劇場総監督
坂口大洋 仙台高等専門学校建築デザイン学科准教授
草加叔也 空間創造研究所代表
〔コーディネーター〕
中川幾郎 帝塚山大学大学院法政策研究科教授

閉会式 2月11日(土)17:30～18:00 アートスペースA

セッション案内 愛知芸術文化センター12階フロア案内図

※左側のフロア案内図と併せてご確認ください。



日 程	時 間	プログラム	会 場
2月10日(金)	13:30～15:00	基調講演	アートスペースA
	15:15～18:00	Session-1	アートスペースA
	15:30～17:00	記念講演	アートスペースH
	19:00～20:30	レセプション	名古屋国際ホテル
2月11日(土)	10:00～15:00	Session-2	アートスペースG
	15:30～17:30	Session-3	アートスペースA
2月10～11日開催時間中		情報交流サロン	アートスペースE・F
		特別展示	アートスペースH

※やむを得ない事情で講師が変更になる場合がございますのでご了承ください。